【練習問題】

〔2〕 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

三条の右の大臣（おとど）、中将にいますかり［(1)］時、祭りの使にさされていでたちたまひ［(2)］。通ひたまひける女の、絶えてひさしくなりにけるに、「かかることにてなむいでたつ。扇もたるべかりけるを、(3)さわがしうてなむ忘れに［(4)］。ひとつたまへ」といひやりたまへりける。(5)よしある女なりければ、(6)よくておこせてむと思ひたまひけるに、色などもいと清らなる扇の、香などもいとかうばしくておこせたる。ひき返したる裏のはしの方に書きたりける。

(7)ゆゆしとて忌むとも(8)今はかひもあらじ憂きをばこれに思ひ寄せてむ

とあるを見て、いとあはれとおぼして、返し、

ゆゆしとて忌みけるものを(9)わがためになしといはぬはたがつらきなり

（『大和物語』による）

（注） 三条の右の大臣……藤原定方
祭りの使……陰暦四月に行われる賀茂神社の祭りに宮中からつかわされる勅使

問一 空欄(1)(2)(4)には、助動詞「けり」が入る。それぞれふさわしい形に活用させたものを解答

〔出典〕
『大和物語』

〔重要語句〕
○通ふ
○絶ゆ
○かかる
○さわがし
○いひやる
◎よしあり
◎おこす
◎いと
◎清らなり
○かうばし
◎ゆゆし
◎忌む
◎憂し
◎あはれなり
○返し
○た
◎つらし

〔敬語動詞〕
◎いますかり
◎たまふ